

第20回児童虐待防止対策協議会	資料2-4
平成29年11月22日	

「日本子どもの虐待防止民間ネットワーク」  
提出資料

## 全国子育て・虐待防止ホットラインメール相談

### 1 メール相談の立ち上げ

- 1995年：子どもの虐待防止ネットワーク・あいち：CAPNA 設立
- 2003年：メールでの相談の対応について検討開始
- 2007年：メール相談試行開始：愛知(CAPNA)
- 2009年：メール相談本格実施：愛知(CAPNA)
- 2011年：子ども虐待防止宮崎の会参加(西日本担当)
- 2014年：せんだい CHAP 参加(東北・北海道担当)
- 2017年：総累計相談件数：7, 747件(2017年9月まで)

### 2 受信件数

- 2017年：1, 001件(11月11日現在)
- 2016年：1, 293件
- 2015年：1, 319件
- 2014年：965件
- 2013年：676件

### 3 相談内容例

#### (1) 虐待してしまう：母親・父親

- ・子育てに疲れてイライラし、つい子どもに手を挙げてしまう。
- ・妻が子供に虐待している。どうしたらよいか。
- ・子供がかわいいとは思えず、ついついたたいてしまう。
- ・子連れでの再婚で、新しい父親が暴力を振るう。

※父親が自分の加虐待を相談することはほとんどない。

#### (2) 子育て不安・イライラ：母親

- ・子育て中、子供の泣き声についてイライラする。
- ・双子の子育てが大変。
- ・仕事と子育ての両立が難しい。

※多くの社会資源があるのだが、なかなかつながらない。

#### (3) 虐待されている：小・中・高・青年

- ・親から虐待を受けている。怖くて相談できない。つらい。死にたい。
- ・付き合っている彼が虐待されている。
- ・父親の激しいDVに家族全員おびえる毎日。
- ・親がお小遣いをほとんどくれない。
- ・ネットのゲームでいじめられている。

※小学生高学年から相談がある。

#### (4) 過去の虐待の後遺症に苦しむ：青年・成人

- ・子どもの時に親からひどい虐待を受けて現在その後遺症で苦しんでいる。

- ・子どもの頃に虐待を受けて、現在精神科に通院している。
- ・いじめで不登校になり、今はひきこもり状態
- ・虐待を受けて育ち今は親になったが、自分も虐待をしてしまう不安がある。
- ・虐待をした親の介護をしている。認知症なので殴っている。

#### (5) 虐待の通報

- ・住んでいるマンションの一室から子どものひどい泣き声がよく聞こえる。心配だ。調べてほしい。
- ・ネット上に子どもにタバコを吸わせている動画がアップされている。
- ・学校の教師だが、自分のクラスに虐待を受けている子どもがいる。どのようにしたらよいか困っている。
- ・インスタグラムで、1歳ぐらいの子どもを洗濯機に入れている画像の投稿があった。

※ネット上の問題については警察へ相談しています。

#### (6) その他

- ・子どものことで児童相談所と対立している。どうしたらよいか？
- ・海外在住の日本人から：妻が虐待しているようだ。どうしたらよいか。

### 4 まとめと課題

- (1) メール相談は若者の利用が多い。
- (2) メール相談は送信文を書く過程で自己を振り返ったりできる効果がある。
- (3) メール相談はやり取りに時間がかかる。
- (4) 相談のニーズに応えるだけの相談員の確保が難しい。
- (5) 財政難

連絡先：〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-4-404

認定NPO法人CAPNA内

Tel: 052-232-2880 FAX: 052-232-2882

E-mail: approach@capna.jp